

南山大学人類学研究所 共同研究「危機と再生の人類学」

講演会「古代アンデス社会の危機」開催のお知らせ

このたび、下記の通り、講演会を開催することになりました。
ご多用中とは存じますが、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日時： 2013年6月22日（土）14:00～17:30
場所： 南山大学名古屋キャンパス R31 教室

講師1： 鶴見英成氏（東京大学総合研究博物館助教）
演題： アンデス文明形成期社会の水害へのレスポンス
講師2： 大平秀一（東海大学文学部教授）
演題： 16世紀・アンデス先住民の「危機」：「征服」・植民地化・先住民間抗争

主催：南山大学人類学研究所
共催：日本文化人類学会課題研究懇談会「危機の克服と地域コミュニティ」

講師略歴

【鶴見英成】1972年、東京生まれ。アンデス考古学者。東京大学文学部考古学専修課程卒、同大学院総合文化研究科文化人類学修士・博士。現在、東京大学総合研究博物館助教。近作に“Plataforma con petroglifo del Periodo Formativo en la Pampa de Mosquito, valle medio de Jequetepeque” *Arqueológicas* 29 (Tsurumi E. y C. Morales)、「ペルー北部3河谷盆地踏査概報」『古代アメリカ』14、“Archeological Investigations at Sajara-patac in the Upper Huallaga Basin, Peru” *Nawpa Pacha, Journal of Andean Archaeology* 31(1) (Matsumoto Y. and E.Tsurumi)など。

【大平秀一】1962年、岩手県生まれ。アンデス考古学者。早稲田大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学。現在、東海大学文学部教授。主要著作に、『エクアドルを知るための60章』（共著 新木秀和編 明石書店 2006年）、『他者の帝国：インカはいかにして「帝国」となったか』（共著 関・染田編 2008年）世界思想社、*Miradas al Tahuantinsuyo: Aproximaciones de Peruanistas japoneses al Imperio de los Incas.* (共著, H. Someda. y Y. Seki eds., Fondo Editorial, Pontificia Universidad Católica del Perú. 2009年)など。

- *参加費：無料
- *使用言語：日本語
- *参加ご希望の方は、なるべく事前に本研究所までご連絡ください（当日参加も可能です）。

人類学研究所
〒466-8673 愛知県名古屋市昭和区山里町 18
南山大学名古屋キャンパス内
e-mail : ai-nu@ic.nanzan-u.ac.jp
PHONE: 052-832-3111 (代表) FAX: 052-833-6157